

事業計画書

事業名	音楽を絆とした新たなコミュニティの創出～部活動の地域移行を通して～
実施場所	沼津市民文化センター又は千本プラザ
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

沼津市の吹奏楽部に在籍する全中学生を対象に団員を募集し、沼津市民文化センターや千本プラザで月2回の練習を行い、社会人バンドのメンバーが技術的な指導だけではなく、運営・企画面における支援を行う。また、年に2～3回程度の演奏会を企画し、練習の成果を発表する機会を設ける。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

- 1 中学生が、生涯にわたり文化・芸術を親しむ基礎を形成する場の確保
- 2 学校の枠や世代を超えた仲間たちと共に多様な学びの機会を得られる場とする
- 3 活動の輪を広げ、沼津市の様々な場所から音楽の生演奏が聞こえてくる活気あるまち
- 4 吹奏楽団で育った中学生をはじめとする若者が沼津に戻ってくる、沼津を大切にす郷土愛を育む

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。
2023年2月上旬 ～2月下旬	2022年度団員に対し次年度の継続希望調査
2023年3月上旬	2023年度新規団員募集開始
2023年3月中旬	2022年度卒団式
2023年3月下旬	新規入団者及び保護者対象説明会
2023年4月～ 2023年7月頃	2023年度活動開始（月2回程度の練習）※原則第2・第4日曜日午後 演奏会開催
2023年11月頃	演奏会開催（沼津市芸術祭に参加予定）
2024年1月中旬	団員及び保護者対象アンケート実施
2024年2月頃	演奏会開催（千本プラザ音楽ホールにて自主公演を予定）
2024年2月中旬	2023年度団員に対し次年度の継続希望調査
2024年3月上旬	2024年度新規団員募集開始
2024年3月下旬	2023年度卒団式 新規入団者及び保護者対象説明会

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。		
<p>1 学校自体や部活動の在り方に影響を受けず、中学生に対して音楽に触れる機会を平等に与えることができる。</p> <p>2 学校の枠、世代を超えた新たなコミュニティの創出</p> <p>3 まちの賑わい(音楽が流れるまち)の創出</p> <p>4 中学生の地域貢献への寄与と、将来地域に戻ってくる、大事にする郷土愛の醸成</p>		
成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 学生団員 30 人以上	※左記指標の検証方法を記載して下さい。 指標の 検証方法 年度末時点の団員数

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>公益性：沼津市全中学生を対象に、参加費をできる限り低額におさえることで、より多くの中学生に多様な学びの機会を提供することができる。</p> <p>必要性：学校部活動が地域に移行していく中で、吹奏楽に興味のある中学生にとって、異年齢集団の活動を通して豊かな人間性を育む場とする。</p>
地域性	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>現状、学校以外で中学生が吹奏楽に触れられる場は限られており、大編成での演奏を経験できる場は皆無である。一方で、市内には社会人バンドが多数存在している。その社会人バンドが受け皿となることにより、民間の音楽教室と比べ低額で参加することができ、且つ大編成での演奏も経験できるようになる。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>吹奏楽の地域クラブ活動としては、先駆けとなる事業である。職業演奏家の集団ではないが、長年楽器演奏に携わってきた社会人バンドの経験を活かし、中学生に技術的な指導だけではなく、団の運営や演奏会の企画をするうえでの支援を行うことで、子供たちの自発的な活動を支えている。また、モデル事業となり、他の競技種目での地域部活動を誘発していく。</p>
発展性 ・ 継続性	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などについて記載して下さい。</p> <p>学校の枠を越えた仲間と、学校部活動では経験できない演奏会等の経験ができる場としての認知が広がることで、継続的に入団希望の増加が見込まれる。また、先行事例を示すことにより、他の社会人バンドにも地域クラブ活動としての受け皿が広がることも期待している。また、この吹奏楽団で育った中学生が将来的に指導者に回るサイクルが確立することで継続的となる。</p>
実現性 ・ 妥当性	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>沼津市の部活動ガイドラインに則った活動であり、今年度の実績に対して、参加した中学生及び保護者を対象に行ったアンケート調査（活動内容、送迎負担、活動費用等）においても、概ね好意的な回答を得られた。今後も、中学生や保護者の声を聞きながら、中学生がより多様な経験ができる場となるよう、事業を進めていく。</p>
活動に対する熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>国の部活動改革の動向を受け、地域に密着した活動を方針に掲げている我々に何かできることはないかと考え、この取組を始めました。子供たちのためにと考え始めたものでしたが、今年度取り組む中で我々大人が中学生たちから学ぶことも多く、共に成長させてもらえたと感じています。今後も、新たな可能性を追求しながら、中学生と共に音楽で沼津市を盛り上げていきたいです。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

我々の吹奏楽団には、貸し出しができる管楽器備品が十分に揃っていない。そのため現在は、中学校の吹奏楽部に所属している生徒を対象に募集を行っている。しかし、吹奏楽部のない学校の生徒からも「入団したい」という声も聞いている。本当の意味で全ての中学生に対して、平等に吹奏楽に触れる機会を提供できるようにするためにも、複数年掛けて管楽器備品を揃える計画も考えている。

また、別事業として、以前は吹奏楽連盟が主催で行っていたが現在は行っていない初心者講習会を行うことも、現在協議中である。中学生年代の育成に力を入れることで、本事業の認知拡大にも繋がると考えている。

一方で、今後沼津市が進める部活動改革の動向にも注視し、中学生にとってよりよい活動環境を作れるよう連携を図っていく。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。